



学校経営理念：共に高まり合う熊三小 学校文化の創造

Kumasan

平成29年1月17日
学校だより 第11号
熊野第三小学校
校長 平岡 弘資
HP <http://kuma0316.ec-net.jp>

☆ 自ら鍛える！

平成29年が始まりました。新年のご挨拶が遅くなり申し訳ありませんでした。今年も何卒よろしくお願いたします。学校は年度で動きます。1月10日から3学期が始まり、学校にも子供たちの元気な声が返ってきました。最初の日には、いつもの挨拶に併せて「あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします、」と挨拶する子が何人もいました。気持ちよく新年そして新学期を迎えることができました。また先日の大雪の日には、「途中で5回くらいこけそうになった。」「尻もちついてお尻が痛い。」などと言いながら子供たちは元気よく登校。雪の降り積もった運動場では朝早くから子供たちが遊んでいました。見ているだけで気持ちよくなります。

さて、新年と言えば「書初め」です。1月6日には、本校職員で「書初め」を行い、お昼にみんなでお弁当を食べながら新年の抱負を言い合いました。私が書いたのはタイトルにもある「自ら鍛える」です。最近子供たちと遊んだりスポーツしたりして痛切に感じる体力の激減を踏まえ、まずは体を鍛えたいと思います。3学期は持久走、縄跳びなど子供たちに負けないよう頑張ります。さらには頭と心も自らしっかりと鍛えるつもりです。始業式にもこの話をしました。詳しくは熊野第三小ホームページの3学期校長挨拶に記載しておりますので是非ご覧ください。

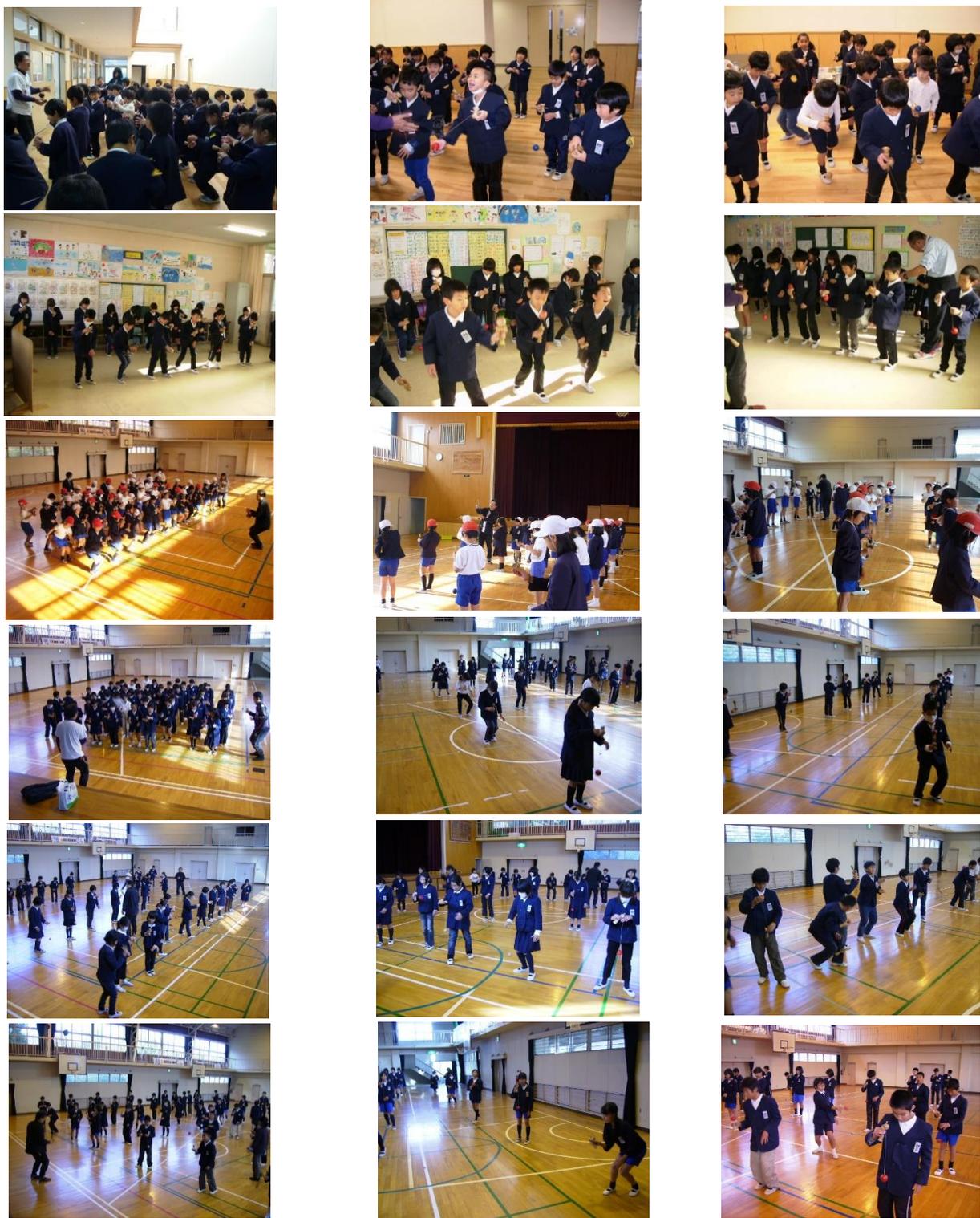


さて、職員の「書初め」には「健康」や「笑」という字が複数ありました。大切なことだと思いました。先生が健康で笑顔でないと、子供たちも笑顔になれるわけがありません。職員の話聞きながら嬉しくなりました。それでは具体的に4年担任の「書初め」について紹介します。まずは坂本先生。「鳥の眼＝仕事をしているとついつい目先のことに気が取られたり、周りが見えなくなったりしてしまう。高い空の鳥のように物事を俯瞰的に見られるように心に余裕をもちながら仕事や生活をしていきたい。」ということです。私も気を付けようと思いました。広い視野で物事を見ていくと、これまで見えなかったものが見えてくる場合があります。次に河野先生「ドンマイ＝何かに挑戦した結果、失敗してよくよ悩み、そこで止まるのではなく、ドンマイの精神で次に向けてさらに挑戦していこうと思う。子供たちが失敗してもドンマイの声をかけて励まし次への意欲をもたせたい。」ということです。本校の育てたい資質能力の中にも「チャレンジ精神」があります。ここで大切なのはチャレンジし続けることだと思います。失敗してもやり続けることだと思います。どちらも素晴らしい抱負だと思います。他の職員の「書初め」も紹介したいのですが紙面の都合上かなわないことをお許してください。今月は職員の話がメインになりましたが、子供たちの様子、これからもご紹介していきますのでよろしくお願いいたします。

☆けん玉教室

今年度も、砂原宏幸先生に来ていただき、学年ごとにけん玉教室を行いました。けん玉のいろいろな難しい技を見せていただき、子供たちから歓声が何度もあがりました。さあいよいよ子供たちの出番です。学年が上がるにつれて、練習する技がレベルアップ。一人一人が一生懸命練習をしていました。

この「集中力」勉強にも活かれます。



※裏面に、2月の行事予定を掲載しています。ご覧ください。